

志田林三郎博士
会報
彰顯士



発行所
多久市中央公民館
発行
志田林三郎顕彰会
0952-74-3241



志田林三郎博士

志田林三郎博士顕彰碑が建立されました

平成25年4月12日(金)新たなスタートを切った市内3校で顕彰碑の除幕式を行いました。小中一貫校東原 庫舎東部校から式が始まり、中央校、西溪校の順に開催しました。

顕彰碑の材質はインド産の御影石を使用、高さ1.8^m、幅38^{cm}、奥行38^{cm}、色はインペリアルレッドと高級感ある碑です。

碑に埋め込まれたレリーフの原型は、上野公園にある国立科学博物館の「科学技術の偉人たち」のコーナーで常設展示されている胸像レリーフの铸型を利用していただきました。



御影石におさまる青銅製のレリーフ



東部校玄関前に建立された碑の前で6年生と東多久町建立実行委員のみなさまの記念写真

それぞれの学校では、児童・生徒を代表して生徒会長が挨拶をしました。『日々の勉強の励みにする決意表明』をする子や『世の中のためになる仕事を指す』と述べていました。



また、ポストンから博士のひ孫にあたるカイザー陽子氏も式に参列され、『博士を育ててくれた多久という教育風土に大変感謝している』『多久がなければ志田の業績はうまれなかった』と謝辞を述べられました。



佐大名誉教授 信太克規氏



横尾俊彦市長とともに



皆さまのおかげで顕彰碑が建立されました。児童生徒に夢と希望を与え、それぞれの目標に向かって努力をする手本となることでしょう。また、文教の里多久にとっても、地域教育力の向上に大いに寄与することでしょう。

ありがとうございました。